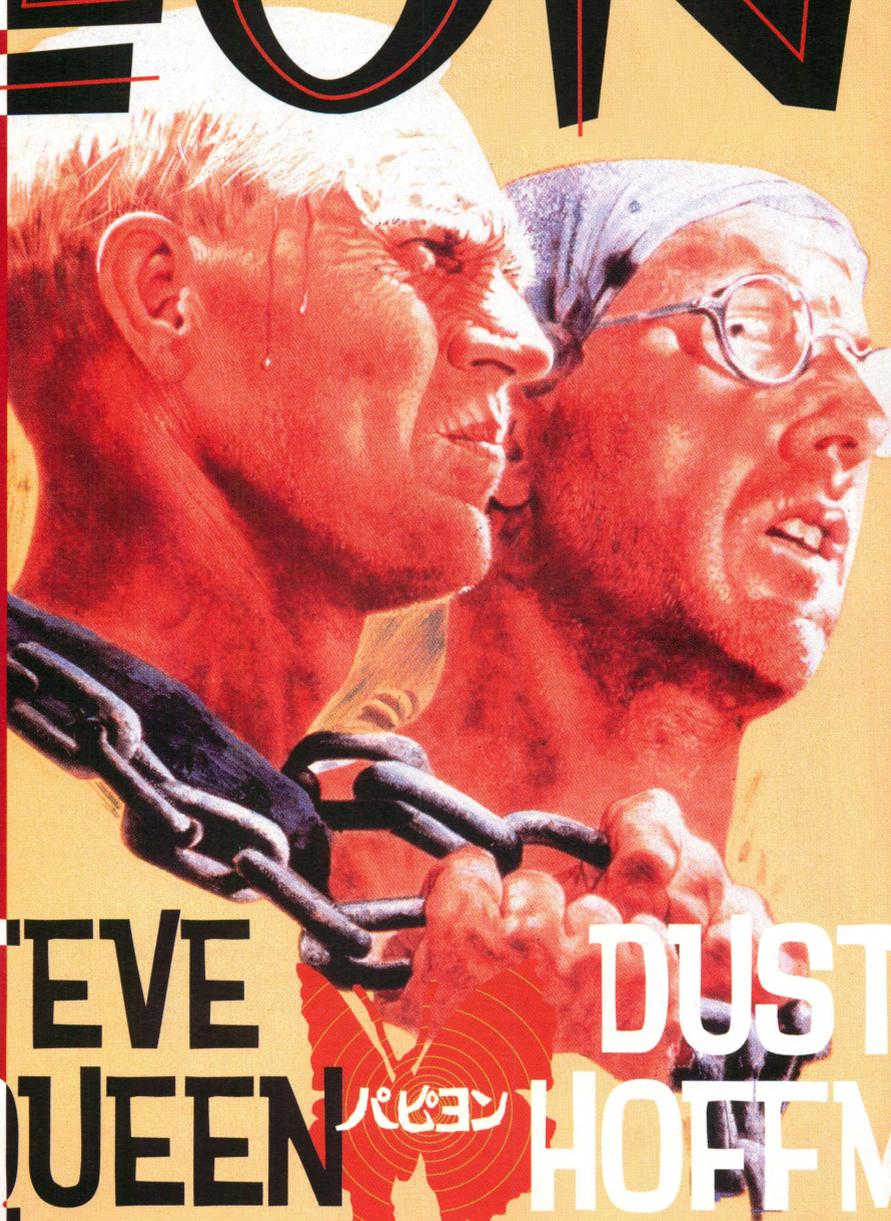


PAPILLON

A FRANKLIN J. SHAFFNER Film
"PAPILLON"



STEVE
McQUEEN

DUSTIN
HOFFMAN

Produced by: Robert Dorfmann and Franklin J. Schaffner Executive Producer: Ted Richmond Directed by: Franklin J. Schaffner
Screenplay: Dalton Trumbo and Lorenzo Semple Jr. Based on the Book "PAPILLON" by: Henri Charriere Music: Jerry Goldsmith Director of Photography: Fred Koenekamp

パピヨン

胸に蝶の刺青を刻み込んだ男
彼を知る者たちは皆
その男の不屈の闘志と
強靱な意志の力に敬意を払い
こう呼んだ

＜脱獄映画＞の最高峰 ニュープリントで復活!!

ジャック・ベッケル監督のリアリズムの傑作『穴』(60)、スティーブ・マックイーンはじめ豪華スター総出演の『大脱走』(63)、クリント・イーストウッド、ドン・シーゲル監督コンビ作『アルカトラズからの脱出』(79)。近作では95年度アカデミー賞ノミネートの『ショーシャンクの空に』の大ヒットが記憶に新しい。綿密な計画、不屈の闘志、男同士の熱い友情。クライマックスの連続、息を飲むラストシーン…。自由を勝ち取るために練り広げられるドラマの数々。これら＜脱獄映画＞の頂点とも言うべき『パピヨン』がニュープリントで帰ってきた!

スティーブ・マックイーン 70年代、アメリカ、 不滅のアクション・ヒーロー

オートバイで鉄条網を軽々と飛び越えてみせた『大脱走』、世界初160キロ以上のスピードによるカースタントの『ブリット』(68)、スローモーションのガン・アクションが炸裂する『ゲッタウェイ』(72)…。銃を撃ち放った瞬間、眉間に皺を寄せるその表情。それだけでスクリーンが一瞬にして緊張に包まれる。遺作『ハンター』(79)に至る最期まで自らの体を張ったアクションを演じ続けたマックイーン。彼こそは、真のアクション映画スターなのだ!

マックイーンとホフマン 二大スターの火花散る競演!!

＜脱獄映画＞のスリルとサスペンス、＜アクション映画＞のカタルシス。この二つの要素が見事に掛け合い、重なり合った一大傑作『パピヨン』。主演のマックイーンは数々の主演作で見せた男の魅力をここでも存分に発揮し、抑制のきいた演技で強さと弱さを同時に合わせ持つ魅力的なキャラクター・パピヨンを創造した。パピヨンと行動をともにする親友ドガには、『真夜中のカーボーイ』(69)『卒業』(67)ほかの演技で当時より実力派として定評のあったダスティン・ホフマン。不屈の男を演じるマックイーンと絶妙な好対照を見せ、まさに70年代映画史上に残る顔合わせとなった。

脚本は『ジョニーは戦場に行った』(71)の鬼才ドルトン・トランボ。監督が『パットン大戦車軍団』(70)でアカデミー賞に輝く巨匠フランクリン・J・シャフナー。音楽が『猿の惑星』(68)のジェリー・ゴルドスミスという一流スタッフが顔を揃えている。原作は自らの体験を赤裸々に綴ったアンリ・シャリエールのベストセラー小説。当時にして40億円といわれる破格の製作費でジャマイカとスペインに長期ロケを敢行、スクリーンを圧する迫力を生み出した。

パピヨン PAPILLON 1973年/フランス・アメリカ合作/カラー/151分

製作◎ロベール・ドルフマン フランクリン・J・シャフナー 監督◎フランクリン・J・シャフナー
脚本◎ドルトン・トランボ ロレンゾ・センブル・ジュニア 音楽◎ジェリー・ゴルドスミス 撮影◎フレッド・キーネカンブ
出演◎スティーブ・マックイーン ダスティン・ホフマン ロバート・デマン ウッドロー・パーフリー ドン・ゴードン

配給……………シネカノン……………C@N
提供:アミューズビデオ

6月28日(土)より(Ⓜマテ)モーニングショー!・AM10:00より
1回上映(終映12:35)

梅田ロフトB1 06(359)1080

●特別鑑賞券¥1,500(当日一般¥1,800/学生¥1,500)発売中!
※劇場窓口、エストIPG、チケットセゾン、チケットぴあ、
関西プレイガイド協会にてお求め下さい。

テアトル梅田

6月28日(土)よりロードショー!「フープ・ドリームス」●特別鑑賞券
¥1,500発売中

